



ティランジア・ブラキカウロス
Tillandsia brachycaulos



ティランジア・ブツィー
Tillandsia butzii



ティランジア・キルクィンナタ
Tillandsia circinnata



ティランジア・ブルボサ
Tillandsia bulbosa



ティランジア・カブツメドゥサエ
Tillandsia caput-medusae



ティランジア・カブツメドゥサエ(花序)
Tillandsia caput-medusae

コリウス [属]

Coleus

シソ科

Coleus Lour. (コレウス) 種サヤバナ属 属名は、ギリシア語 koleos(鞘)により、雄しべの花糸が基部で筒状に合着していることに由来する。旧世界の熱帯・亜熱帯に約150種が分布し、日本(琉球諸島)にもケサヤバナ1種が知られている。

多年草。葉は対生し、縁には鋸歯や鈍鋸歯があり、葉面は波状となる。花は小さく、ふつう青色あるいは淡青色で、穂状花序に多数つく。がくは鐘形。花冠は2唇形。果実は分離果で、4分果に分かれる。

(主な種類)

▶ **コリウス C. × hybridus** Voss 一般にコリウスと呼ばれているものは、コリウス・ブルメイ [C. blumei Benth.] などを中心にして、複雑な交雑によって作出された園芸品種群を示している。学名として C. blumei をあてることがあるが、ジャワ原産とされるこの種がヨーロッパに渡ったときには、すでに自然交雑による変異がかなり生じていたとされ、種そのものが栽培されていることはないようである。多年草あるいは亜低木で、株元からよく分枝する。以下に示すように多くの園芸品種がある。果実は分離果で、1個ずつの種子をもつ分果に分かれる。園芸上は、この分果を種子として扱っている。

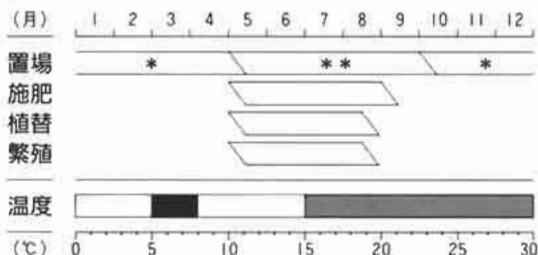
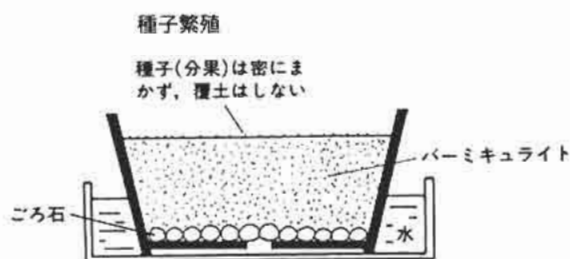
種子繁殖系としては、次のものがわい性で各色あり、鉢作りに適している。

ハイウェイ・シリーズ (Highway Series Mix) 一葉は楕円形で、草丈は20~30cmほど。

セブン・ドワフス・シリーズ (Seven Dwarfs Series Mix) 一葉は楕円形で、草丈20~30cmほど。

ケアフリー・シリーズ (Carefree Series Mix) 一葉に深い切れ込みがあり、キクの葉に似ている。草丈20~35cmほど。

繁殖法



*明るい室内 **遮光20~30%



コリウスのコレクション(ウィズレー植物園にて)

セイバー・シリーズ (Saber Series Mix) 一葉は細長く、ヤナギのようで、サーベル・シリーズとも呼ばれている。草丈は25cm以下になる。

ミルキー・ウェイ・シリーズ (Milky Way Series Mix) 一葉に切れ込みがあり、極わい性。

栄養繁殖系にも美しいものがたくさんあるが、まだあまり普及していないのが残念である。

イギリスのウィズレー植物園では、高性の園芸品種を使って、大鉢作りによる見事なスタンダード仕立てや株仕立てが展示されていた。

▶ **コリウス・プミルス** C. pumilus Blanco 茎は横臥性で、吊り鉢に適する。葉は広卵形で、縁に円状鋸歯がある。'レインボー' ['Rainbow'] は、葉が紅色

